

3階建ての空き店舗をフル活用し「休憩所・ミニ図書館・市民の交流の場」を設置

前原市商工会

機関名	前原市商工会		
所在地	福岡県前原市前原北1丁目1番1号		
電話番号	092-322-3535		
地域概要	(1)管内人口 67千人	(2)管内商店街数 2商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 80商店	
	(3)空店舗率 5%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（複合施設）

- ・休憩所、ミニ図書館、ギャラリー設置
- ・カルチャー教室等開催の場の提供
- ・託児施設、高齢者の暮らしの相談所設置

総事業費

5,365千円

【事業実施内容】

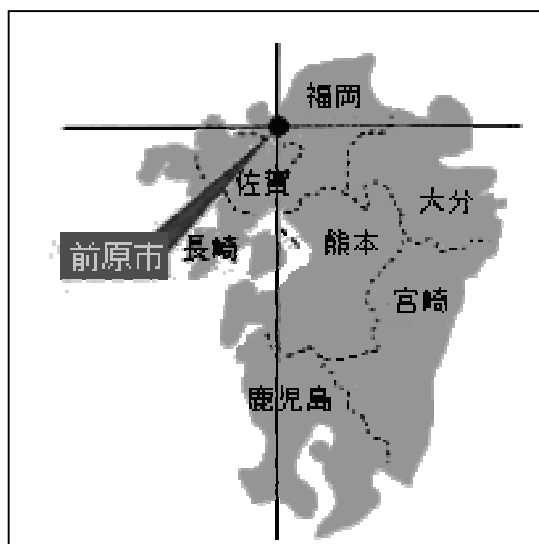
1. 背景

前原市は平成4年に市制を施行した若い市で、福岡県の西端に位置し、東は福岡市、西は糸島郡二丈町、北は志摩町、南は佐賀県富士町と接している。九州の中心地である天神まで電車で30分、西九州自動車道利用で30分と、交通アクセスに恵まれ福岡市のベッドタウンとなっている。

JR筑前前原駅周辺を中心市街地は、江戸時代に唐津街道の宿場町として栄え、以降、糸島地域の政治、経済、文化、交通の中心として発展してきた。

しかしながら近年、福岡市内への交通利便性の向上や郊外大型店の進出等により、前原市の中心部の空洞化が進み、中心市街地の商店街は集客力が低下する等厳しい状況となった。

そこで、商店街の空き店舗を地域のコミュニティスペースとして活用し、休憩所の設置、展示会やイベント等の実施により、商店街の集客力を高める事業を実施することとなった。



前原市の位置図（前原市HPより）

2. 事業内容

イリスロード伊都商店街内の空き店舗を活用し、コミュニティ施設「ふれ愛処」を開設した。

(1) コミュニティ施設「ふれ愛処」の施設概要（オープン 平成 15 年 7 月 20 日）

①1 階「やすみ処」

- ・ 絵画や写真等の展示スペースの有料貸出し（10 時～13 時、13 時～17 時 各 1,000 円）
- ・ 福祉団体による展示販売、糸島特産物の紹介等

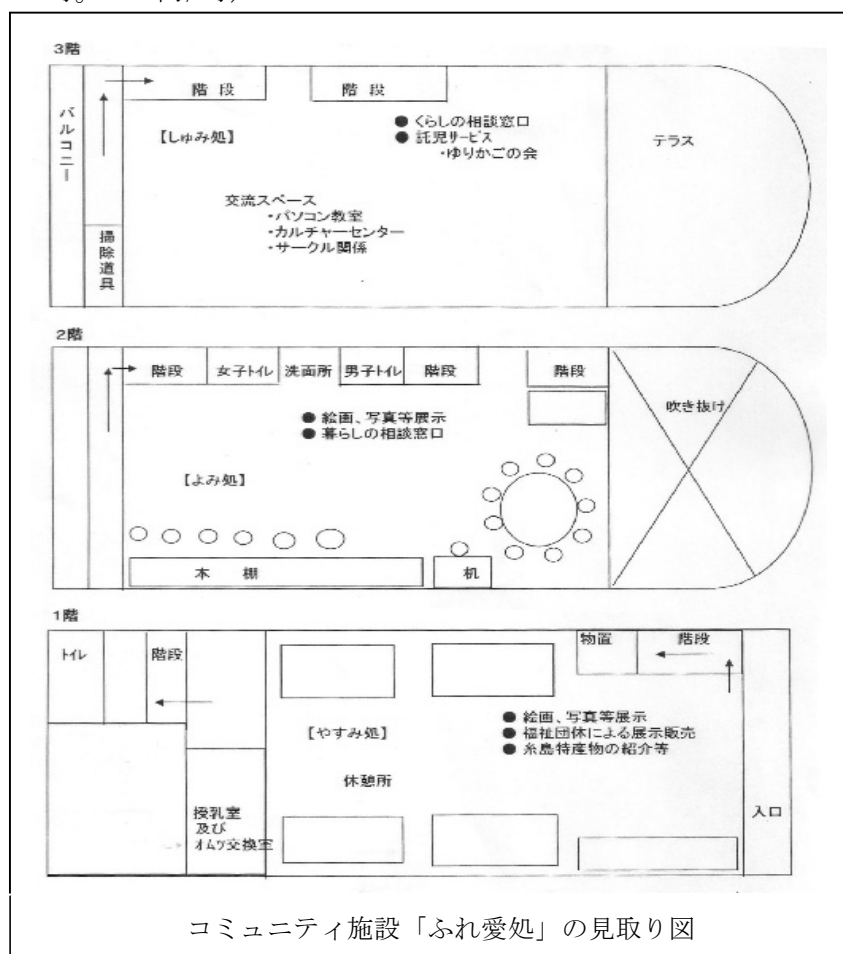
②2 階「よみ処」

- ・ 絵画や写真等の展示スペースの貸出し（終日、無料）
- ・ 本の寄付を商工会で募り、ミニ図書館の開設
- ・ 5 時以降は、会議室として有料貸出し（500 円/時）

③3 階「しゅみ処」

- ・ 市民サークルやカルチャーセンター、パソコン教室等への有料貸出し（10 時～13 時：2,000 円、13 時～17 時：2,000 円、17 時～22 時：2,000 円）
- ・ 暮らしの相談窓口開設
- ・ 託児サービス「ゆりかごの会」

（平成 15 年 11 月より毎週金曜日、平成 16 年 2 月より毎週月・金曜日に実施。10 時～15 時。500 円/時）



(2) 運営

「ふれ愛処」の実際の運営は、「NPO 法人糸島シニアネット」（パソコン技術講習などによるシニアの生きがいをづくりと地域貢献を目指して設立）に委託した。

また、託児サービス「ゆりかごの会」は、市民の託児ボランティアサークル「前原ファミリーサポートゆりかごの会」に運営を委託した。

(3) 利用実績

①来場者数：延べ2,685人（平成15年7月20日～16年3月29日）

- ・ギャラリーは市内の幼稚園・保育園の絵画展や写真コンテストなどに利用された。
- ・休憩スペースは、買い物途中の来街者の休憩所として利用するほか、特産品物産展や、商工まつり抽選会場などの催事にも利用された。
- ・ミニ図書館は小中学生の読書・勉強の場、中国人留学生の勉強の場として利用された。
- ・貸し会議室として主に夕方からは、市内商店街、商店会、商工会青年部、小学校PTAなど各種団体に利用された。
- ・3階の交流スペースは、クラフト教室、パソコン教室、アロマテラピー教室、陶芸教室などの各種カルチャー教室に利用された。

②託児所「ゆりかごの会」利用者数：36人（開催回数35回）

11月より毎週金曜日、2月より毎週月・金曜日 10時～15時

【 効 果 】

事業実施期間中、「ふれ愛処」の来場者を対象にアンケートを実施したところ、「ふれ愛処」の感想としては、「大変良い」「便利になった」「あったほうが良い」の肯定的意見が83%を占め、その意義が理解されていた。また、今後一層、コミュニティ施設としての内容の充実を望む意見も多く、期待されているのが分かった。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 事業費の確保

NPO 法人糸島シニアネットに対する委託費や家賃、水道光熱費などの経費を賄うと、それ以外の事業経費が思ったほど捻出できない。今後は、維持管理していく上でいかに事業収入を得るかが問題である。

2. PR

PR不足により、事業内容についてまだまだ認知されていないため、集客が少ない。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

NPO 法人に協力を得られたことは非常に助けられたと思う。あくまでも、地元商店街の人達を中心に動いてもらうことは重要であるとする。

【 関 連 U R L 】

前原市商工会HP <http://www.itokoku.com/maebaru/>